

わかひさ便り 2

2015. 7. 1

わかひさ保育園 園長 井上國康

先月歯科検診がありました。歯科医師砥上照美先生との話しで保護者の方にお知らせしていたほうが良いと思われる内容を、先生の同意を得て今回書きました。

①「全般的にはよく磨かれていて、虫歯が全くない子も大勢いました。しかし昨年虫歯の指摘を受けた子が今年もまた虫歯でいる子も見られ個人差がありました。」

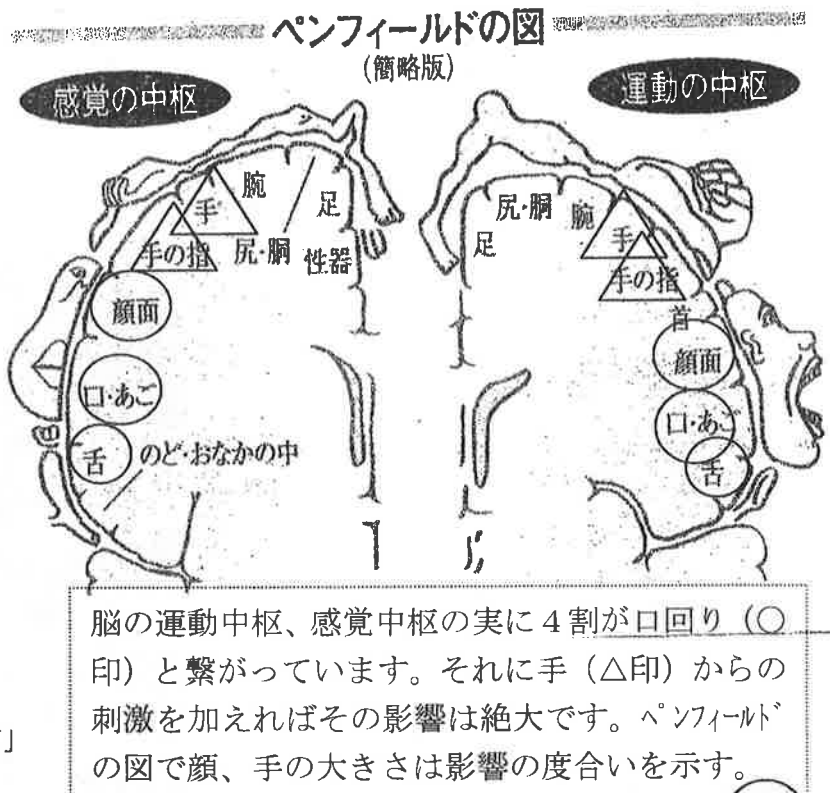
また「口の中を見れば家庭の中がわかる」とも言われていました。(ドキッ!)

②「幼児期の隙間のない歯並び(閉鎖歯列)に親は安心するようですがこれは間違いです。

将来乳歯より大きい永久歯が並ぶためには隙間(空隙歯列)のあるほうが好ましいのです。いつまでも液状の離乳食に頼ってはいけません。昨今の軟食傾向に加え、よく噛まない子は顎の発達が十分でなく永久歯がきれいに並べません。」

③「大切なことはよく噛むことです。これは手を動かす事と共に脳の発達に大きく影響します。(先生から提供の資料右図参照) また唾液の分泌を促し虫歯・歯周病を予防します」

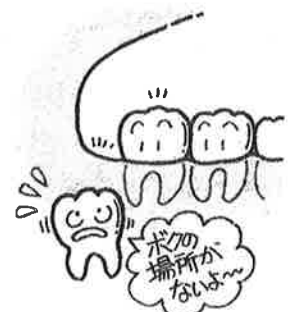
④「3歳までの食事で味覚は決まります。調味料などを過分に加えず食材の味を生かして調理すべきです。この時期甘いものを与え過ぎるとと大人になって確実に甘いもの好きになります」



親不知の復権は？

最後に生え揃う第三大臼歯は親も知らない成人する頃現れるので親不知と言うのだそうです。厄介者=親不知？ 私も数年前変な生え方をして虫歯になった親不知を抜きました。しかし前から疑問に思っていました。必要だから生えてくるのでは？

生きるため動物はその食性に合せて歯の形を進化させてきました。縄文時代、硬い木の実など未加工の食料を食べていた頃は親不知も立派に機能していたのですが、人類は何千年と食べやすく加工技術を発達させてきました。このため丈夫な顎が必要でなくなり、最後に生える親不知のスペースもなくなり、いつか余分なもの迷惑なもの扱いになってきたのでしょうか。それは現代人が抱える歯、顎の多くの



病気を生むことにもなったようです。このままでは将来、第二大臼歯も親不知の存在になりかねません。実際に第二大臼歯がきちんと生えてこない若い人も最近多くなってきているそうです。砥上先生が警告するように、子どもだけでなく保護者の方も縄文人のご先祖さまに習ってよく噛む習慣をつけ丈夫な顎と歯を持ち続けられて下さい。おそらく人類に親不知が本来の役割を果たす日はもう来ないのかもしれないかもしれません。それも進化なのでしょうね。

数年前からさくら組で紙芝居を月2~3回しています。(うめ組で行ったこともあります)

6月は1回目「恐竜ってなんだろう」「実物大恐竜絵本」2回目「ゆうたのダンゴ虫」「カタツムリ」「走れ!ッピ」(シマウマの父親が命を賭けて子を守る話)でした。

導入はこんな様子です。ダンゴ虫クイズ! 第1問「大昔のある生き物が進化してダンゴ虫になりました。それは次の何ですか? ①みみず②カニ③ムカデ」(皆①か③と答えました)「答えは②(甲殻類の仲間)です。お腹につけた袋(育児嚢)で赤ちゃんを育てるエビやカニと同じ仕組みを持つのはそのなごりです。海から(干潟)海岸、陸に住むところを替えやがてそこでの生活に慣れて今の形になったんだよ、落ち葉や虫の死がいなどを細かく(分解)して土に変えてくれる大切な働きをしています。気持ち悪いといって殺す人もいますが、毒は持っていないので皆は踏み潰したりしないで仲良くして下さい。」とダーウインの進化論(宗教によっては否定論もありますが現代科学の定説に従っています)にも少し触れました。

恐竜の紙芝居はとても反応が良く、恐竜の名前は皆よく知っていました。歯の違い、角、硬い甲羅、尻尾のコブの役目などみんなで考えました。このあと、実物大の絵本を読み聞かせたらその巨大さに皆びっくりの歓声、女の子は少し怖そうでした。アンモナイトや二枚貝の化石にも触ってもらいました。

それにしてもさくら組さんの集中力は素晴らしいと思います。約30分間熱心に聴き入っています。中断する心配がありません。こちらもつい熱が入ります。保護者の皆様の愛情たっぷりの子育ての賜物です。



【実物大の恐竜の足に皆はびっくり。6月19日】

ちなみに

4月「ばいきんバイバイ！」

「ムシバーマンがんばる」

「バイキン怖いぞ」「命をいただく」

5月「オオムラサキのお母さん」「おんがえし(1)らいおんとねずみ(2)ありとほと」

「かわうその冒険」でした。年間計画にしたがって適切なものを選んでいますが、こんな紙芝居があるよ、という方は教えてください。

子どもの咳き

4月25日歓迎遠足でのこと
動物園での帰りの集合で後列の母親を振り返り
シクシク泣いていたうめ組の男の子に話しかけ
ました。「今日はどんな動物が良かった？」
「ママがよかったー」

